

平成21年5月29日
九州地方整備局

地元企業活用評価型方式の試行状況

— 公共工事の更なる品質向上を目指して —

地域に精通した優良な地元下請け企業が施工することで、工事の品質確保及び地元企業な健全な育成を目指して、**地元企業活用評価型方式の試行状況**をお知らせします。

- ・ 建設投資の減少や建設資材の急激な高騰等、建設業をとりまく環境がいつそう厳しさを増し、地域を代表する地場建設業者の倒産が相次ぐ等の深刻な影響が出ている状況です。
- ・ これらの対応として、総合評価方式の評価項目に「大手企業に発注する工事で地元企業の下請け活用や資材等の地元企業からの調達を図る地元企業活用率」を設定し、地元企業活用率が高い企業に対し優位に評価する試行を行っています。
- ・ 試行工事については、契約済2件、手続中2件です。長崎県での試行結果は、地元企業活用率が従来の実績より約20%（約1億円）の上昇が見られ、地元企業の活用が図れました。

(<http://www.qsr.mlit.go.jp/>)

九州地方整備局

企画部 技術開発調整官 くわの しゅうじ 栗野 修司 (内線3120)

技術管理課長 ひさの たかひろ 久野 隆博 (内線3311)

技術管理課課長補佐 ほり やすおす 堀 康雄 (内線3313)

電話番号：092-471-6331 (代表)

092-476-3546 (技術管理課直通)

地元企業活用評価型方式の試行

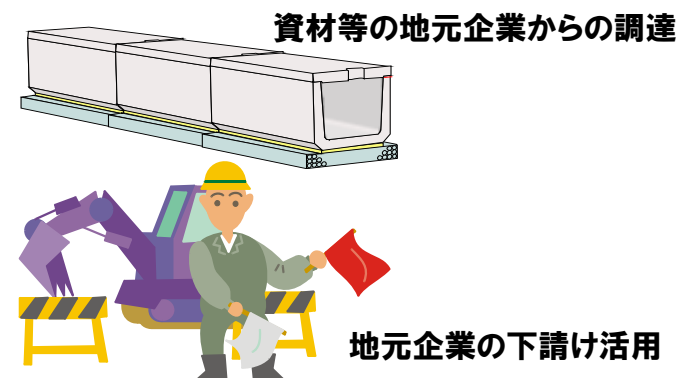
【地元企業活用評価型方式】

大手企業に発注する工事で地元企業の下請け活用や資材等の地元企業からの調達を図るため、総合評価方式で地元企業からの活用について評価する。

〈評価項目と加算点の例〉

元請け評価		地元企業活用評価	計	
技術提案	企業評価等			
	企業評価	技術者評価	地元企業活用率	
25	25		5	55

※地元企業活用率：地元企業との下請け額と資材等の地元企業からの調達額の合計額を契約額で除した率



【試行の状況】（契約済2件 手続中2件）

■契約済み工事

長崎県の状況（工種：一般土木）

地元企業活用率が従来の実績より約20%（約1億円）の上昇がみられ、地元企業の活用が図れた。

大分県の状況（工種：PC橋）

地元企業活用率は従来と大きな差はなかった。

■契約手続き中工事

鹿児島県 1件
（工種：プレストレストコンクリート橋）

大分県 1件
（工種：鋼橋上部）

【今後の予定】

■プレストレストコンクリート橋 2件

■一般土木工事 2件

計4件の試行工事の発注を予定。